

発想の視点を変えることのすすめ

江戸川総合人生大学学長
北野 大



古来より多くの科学・技術は発想を逆転することにより成功しています。たとえば物を加熱する場合、通常

は外から加熱しますが、内燃機関と呼ばれる車のエンジンでは燃焼するガソリンはシリンダーの中です。また、階段は人が歩いて上り下りしますが、人の代わりに階段を歩かせているのがエスカレーターです。電車を上下に走らせているのがエレベーターです。大阪城築城に用いられた巨大な石は四国から瀬戸内海を渡って運ばれましたが、当時はどのように運んだのでしょうか。船に載せると誰もが考えますが、10トン近くもある巨大な石を当時の船に積んだら船が沈んでしまいます。

この場合の逆転の発想は船に載せるのではなく、船の下に石を吊るすことです。アルキメデスの原理を思い出してください。

「固体の全部または一部を流体中に浸すと、それが排除した流体の重さに等しいだけの浮力を受ける」という原理（広辞苑より）です。

私の自宅は東京の東の端、埼玉県との都県境にあります。

勤務している明治大学の理工学部は神奈川県川崎市です。東武伊勢崎線、地下鉄千代田線、小田急線と乗り継ぎ、通勤には1時間50分くらいかかります。通勤時間が長いということは、正直なところ決して楽ではありません。しかしここで発想を変えると、この時間はなんとも有用な時間になります。

電車の中で考え事をしたり、本や新聞を読んだり、CDやニュースを聞いたり、まさに私にとって車内は動く書斎であり、動く茶の間です。また最寄駅の生田駅からキャンパスまで徒歩約10分で、キャンパス内には通称定年坂というきつい坂があります。息が切れてとてもお話ししながら上れるような坂ではありません。しかし、これも考えようによっては通勤途中がエクササイズになり、ダイエットになるわけです。

ちなみに定年坂とは私達教員が勝手に付けた名称で、この坂を自力で登れなくなったら、大学教員を辞めるべしという自戒の意味が入っています。

江戸川総合人生大学は実社会で役立つ学問、実践する学問である実学を学び地域に貢献できる人材を育成することを目的としていますが、これも発想を変えれば学ぶのは地域のためと言うことよりも自分自身のためと言うことができます。学ぶことで充実した生活の中で自分自身が向上し、またその結果として人様のお役に立て、感謝されるということは人生最大の喜びではないでしょうか。

この喜びを、さらに多くの人たちと分かち合いたいと思っています。

総合人生大学の授業紹介

共通基礎科目 《カウンセリングの基礎》

私たちはさまざまな悩みを抱えて生きています。仕事のこと、人間関係や家族関係、定年後の生き方…。「私は自分らしく生きているだろうか」といった思いを抱くことも少なくありません。「カウンセリング」では、人がこうした悩みや問題に自分らしく向き合っていくプロセスに寄り添いその人のこころを聴かせていただきます。

この科目では、日常のさまざまな場面で生かせるカウンセリング学習を体験的に学んでいきます。それを通して、①他者の気持ちに耳を傾け、大切にコミュニケーションをとれるようになること、またその前提として、②自分自身のこころに向き合っているようになることを目指します。



諸富先生の講義



カウンセリングの演習風景

地・域・と・つ・な・が・る

紅葉川高校生と モニュメントとの出会い

東京都立紅葉川高校
武市玲子先生(投稿)

都立高校で今年度から始まった授業「奉仕」。地域貢献の内容を考えていたとき、目に止まったのが、「広報えどがわ」の江戸川総合人生大学の記事。恐る恐る電話すると代表の島田さんが快く引き受けてくださいました。モニュメント6の皆様(何と10人も)のご指導の下、まず1年生の半数(120人)が12月19日に清掃活動を行ないました。40分の講議に続き街歩きをかね実作業に入りました。

はたして生徒がきちんとできるのか。まず、最初は2メートルを超えるステンレスのモニュメント。なぜか頭上から生徒の声が。てっぺんに座り「球体も磨かなくちゃ」と喜々として雑巾で磨いているのです。「ど、どうやって登ったの?!」「肩車だよ、こいつ、ちびのくせに台になってくれたんだよ」「そうそう」かくして2つ目、3つ目も生徒の歓声に包まれ、清掃が進んでいくのでした。

自転車で観察に来た副校長、「目的があるから生徒のやる気が違うね」そういえば、磨いて息を吹き返した『朝陽と夕音』の音楽、『日の光』の二人の語らいを聞いたような…。『1+1+1=1のモニュメント』は生徒達に自立しながら互いに協力し合う事の大切さを訴えています。清掃はモニュメントの命を蘇らせ、命をもらう作業なのでした。

振り返れば、紅葉川高の前庭には巨大な鉄の骨があります。「大空をさす」と題されたこのモニュメントは、20年前、日本橋から移転した時、新天地で伸び伸びと生徒を育てようとの心意気を表現したものでした。小判に気づいた猫の心境です。



教員と生徒の文化的感性を磨いてくださった「モニュメント6」の皆様、厚く御礼申し上げます。次回も楽しみにしております。

【3月21日(金)に第2回の講議を行ないます。モニュメント6とは、江戸川まちづくり学科2期生を中心とする、区内の彫刻=モニュメントの清掃を行なっているボランティアグループです。

お問合せは 090-2744-1595 島田】

〈GIIS日本語授業サポートの会〉 国際コミュニティ学科3期生

グローバル・インディアン・インターナショナル・スクール(略称GIIS)は平成18年8月に江戸川区南篠崎町に開校した生徒数200人余り、幼稚園から9年生までインドを始め様々な国籍の子ども達が通っている学校です。代表のニヤンタ氏はメディアにもよく登場され、インド数学の素晴らしさなどをアピールされています。この学校は教育熱心であることはもちろんですが、子ども達を日本文化に触れさせる事や、地域住民との交流などにも積極的に取り組んでいます。

国際コミュニティ学科3期生が一年次のフィールドワーク「インドの文化を探る」

でGIISを何度か訪問をしました。この縁で、日本語担当の石澤先生から、大学事務局を通じて日本語授業のお手伝いをして欲しいとの要請がありました。2年目の課題としてのボランティア活動を模索していたので快諾し、高比良毅さん他同期10名で昨年9月から活動を開始しました。

石澤先生は私たちの活動について「一人では目が行き届かなかったのですが、きめ細かい指導が出来るようになって、とても助かっております。また、子どもたちもボランティアの皆様を心待ちしております」と話されました。

メンバーの梅沢恵子さんは「私達も運動会、ディワリー(インドのお祭り)、アニュアル・デイ(学習発表会)などに参加し、インド文化に触れる機会も多くなった。カルチャーショックを受ける事もあります。私達を『先生』と呼んで、待っていてくれる子ども達の笑顔に励まされて、今ではボランティア活動を楽しんでいます。長く続けていきたいと思っています」と語っていました。

(国際コミュニティ学科3期生 矢作弘子)



石澤先生と5年生の授業の様子



子どもと楽しそうに話すサポーター

「もったいない運動えどがわ」を広げよう! ~みんなあつまれ~

——— えどがわエコセンター

第2回もったいない運動えどがわ区民大会 開催!

地球温暖化防止につながる「もったいない」の発表を行います。当日は長野からC.W.ニコルさんがやってきますよ! みなさん、お楽しみに!

期日: 平成20年3月8日(土)

場所: タワーホール船堀

【1】もったいない発表(定員: 700人) 無料
5階 大ホール 14:30~(受付: 14:00~)

1) 表彰 「もったいない大賞」ほか各賞

2) 記念講演

「もったいない」私が愛する日本の心」C.W.ニコル
〈プロフィール〉作家。世界各地で環境保全活動を行い、1980年から長野在住。1984年から森の



再生活動を実践するため、荒れ果てた里山を購入、「アフアンの森」と名づける。

【2】もったいない展示会

1階 展示ホール1 11:00~16:30

1) 「もったいない」活動の紹介

2) 区民や子どもたちによる「もったいない」作品の展示

【3】交流会(参加費 ¥500)

3階産業振興センター 16:30~17:30

●申込み: 【1】【3】→要申し込み(抽選) 【2】→不要

●2月15日までにえどがわエコセンターまで、氏名、郵便番号、住所、電話をご連絡ください。

●当選者には後日参加証を郵送します。

詳しくはえどがわエコセンターまで。電話: 5659-1651

地・域・を・さ・さ・え・る

〈ボランティア養成講座プログラム作り〉 子ども支援学科3期生

「子どもコース」から「子ども支援学科」へ学科名が変更になり、二年目の授業が昨年の10月25日から始まった。



現在は『ボランティア養成講座のプログラムを作ろう』という授業内容だ。この授業は全4回行なわれ、「あい かんどう」、「陽だまり」、「HAPPY」の3班に分かれて作業が始った。

「プログラムを作る」という事はということかを理解するところから始まり、手

探りの中、班の人たちと意見を交わしながらゆっくりと確認していく。自分ひとりで考えていると、ずれていってしまいそうなところも仲間と話していると少しずつ解ってくる。3回目の授業でだいぶ内容がまとまってきたが、まだ完成しておらず、発表に向け授業後もしっかりとプログラムを完成させるために打合せを続け、まとめあげた。

完成したものを4回目の授業で各班10分間の持ち時間で発表した。

このプログラムの作成で学んだことが、2月17日(日)に行われる新たな企画にどのように活かされるかが楽しみである。

(子ども支援学科3期生 渡辺佳保里)

発表の内容

班名	テーマ	主な内容
あい かんどう	子どもの「できた！うれしい！」を増やす学校支援ボランティア	子どもだけでなく関わっているボランティアの人達も「できた！うれしい！」を実感して欲しいという思いで5回のプログラムを作成
陽だまり	子どもにとっての幸せを考える	親子の個を尊重する支援者を養成する講座「傾聴」に重点をおき4回のプログラムを作成
HAPPY	お母さんのひとりの時間をつくってあげましょう	今までの学習を振り返り、その内容を含めながら11回のプログラムを作成



〈江戸川の暮らし・福祉マップ作成〉 介護・福祉学科3期生

介護・福祉学科2年生の授業は、地域活動の実践力を高めるための学びが中心。

地域を住みやすくするためには、まず自分の住んでいる地域をよく知ること、その中から解決すべき課題を探ること、そして解決方法を発見することが必要です。そして一人ではなく地域の人達みんなと考え、実現していく力が求められます。

「江戸川の暮らし・福祉マップづくり」はこのための授業です。

自分の住んでいる地域を中心にクラスを2～5人ずつのグループに分け、地域ごとに歩いて調査し、資料を集め、聞き取りを行い、グループごとに討議してそれぞれのテーマを決めました。テーマは「老いても安心して住める街」「目的をもって自立

と健康に支えられた熟年者の生活」「健康づくりの散歩道」「私たちの街・中葛西」「食の提供～配食サービス～」「高齢化を考える」「伝説と風情のある地域」の7つです。

「老いても安心して住める街」グループは、『高齢者、障害者、車椅子、ベビーカーにとって安全・安心な街を』という視点から、平井・小松川地区のバリアフリー状況を調べました。横断歩道の段差がどのようになっているか、ベンチがどこにどのように設置されているか、などを調べる



中から区道と都道ではバリアフリー化の進み方が違うこともわかりました。区道のほうが、歩道の段差解消などを熱心に進めているようです。

地域にはまだまだ段差や歩行の障害物も多く、みんながバリアフリーに関心を持ってほしいと思います。

こうした地域の現状や課題をグループで討議しながらまとめあげ、調査データ・写真・まち歩きの状態などを持ち寄って、地図を貼った模造紙に落とし込み、クラスで発表するための「江戸川の暮らし・福祉マップ」を作ります。

《発表すること》も地域で活動するためには大切な技術。発表を一人に任せるのではなく全員参加型で一人2分位のリレー方式で行いました。発表の当日は1年生と2年生の交流授業。発表は緊張しましたが、和気藹々と時には笑い声につつまれて意見交換が進みました。

気軽にボランティア ～使用済み切手・使用済みカードの収集～

「ボランティアを始めたい。でも、今一步が踏み出せない」という方へ身近で手軽に出来るボランティアがあります。

使用済み切手・使用済みプリペイドカードの収集です。

使用済み切手等は、国際協力や障害者支援を行っている団体に届け、それぞれの活動に役立てられます。例えば、使用済みカード1枚が虫下しの葉3錠になり、開発途上国の児童のために活用されます。

使用済み切手については、図のように消印を残して台紙ごと切り取ってください。収集箱は区民館等身近な区民施設にあります。

使用済みカードについては、対象にならないものもあります。

詳細はお問合せください。

また、集まった切手・カードの整理をお手伝いいただけるボランティアさんも募集しています。

詳しくはボランティアセンターまで。電話：5662-7671



心と心をつなぐのは「ことば」

インディラ・バットさんは、在日25年に及びインド北部出身の親日家。現在江戸川区在住のインド人会の副会長を務める傍ら、(株) ユナイテッド・トラベルサービス・インターナショナルの代表取締役として日・印の文化交流の架け橋役として八面六臂の大活躍。また、本学国際コミュニティ学科の講師として度々教壇に立たれ、外国文化の紹介など地域コミュニティ促進の立役者として地元の人達にも大変親しまれています。お好み焼き、焼きそば大好きのさしすめ下町の肝っ玉母さんを彷彿とさせる親善大使といったところ。多忙なひと時を割いて本場の紅茶でにっこり対応して頂き、異文化交流の原点などいろいろお話を聞きました。大変流暢な日本語を操りその博識振りには驚嘆しました。

○日本へはいつ来られたのですか。

●1983年8月4日、インドの旅行会社の日本支社(大阪)の開設に伴い家族と共に来しました。1987年新会社を設立して独立したのを機に江戸川区西葛西に移ってきました。

○お仕事の内容と日課を伺ってもよろしいですか。

●はい、アジア、アフリカ、中近東地域のオペレーションネットワークの旅行斡旋業務です。当初は観光旅行が主でしたが、最近は日本からの留学生やビジネス(IT産業)などの長期



滞在者が多くなりました。月曜から木曜まではこの仕事で、金曜は大東文化大学でヒンディ語を教えるに通っております。土、日は休みですが、旅行者にトラブルが起きたときの対応などに追われること

もあり携帯電話は離せません。

○インド人の方々だけでなく、地元の人たちからも頼りにされているようですが。

●在日インド人会は2000年に設立されたのですが、インドから来日してきた人たちが自然に近くに住むようになり、相談相手になったり、地元の人たちとの橋渡しが口コミで自然に広がったのでしょう。江戸川区は人情豊かな街でとても住みやすいです。

○地域での異文化交流に一番大事なこと、心掛けていることは何でしょうか。

●やはり言葉でしょう。とにかく伝えたいことを文法などにとらわれず素直に伝えることです。そこから信頼関係が生まれます。「以心伝心」で自然に輪が広がっていくものです。

(国際コミュニティ学科2期生 吉田英雄)

(株) ユナイテッド・トラベルサービス・
インターナショナル
(電話) 3675-6636

先生を紹介します

国際コミュニティ学科科長
ジョージ・W・ギッシュ

50年前の1958年は私の初来日の年に当たります。当時の交通機関から考えますと今は随分便利になりました。故郷のカンザス州から長距離バスでサンフランシスコまで3日間かかり、そして貨物船で沖縄を経由して横浜港まで3週間かかった後、旧国鉄の準急に6時間乗って、やっと目的地の名古屋駅に着きました。自分の育ったカンザスの大草原に比べて、日本の三大都市である名古屋駅前の発展振りに驚いた印象は未だに鮮明に覚えています。

名古屋学院の中・高等学校をはじめ、名古屋大学などで教える日本の教育に触れながら、日本の伝統音楽等の日本の社会とその歴史に興味を持つようになりました。アメリカに一時戻った時、ミシガン大学大学院の日本研究センターで3年間日本文化全般にわたって勉強する機会が与えられ、琵琶音楽史について論文をまとめました。

1968年再来日、東京で仕事をする事になり、その生活がもう40年になります。5年前、青山学院の名誉教授になり、江戸川区の国際コミュニティ学科を担当しながら、江戸川区の素晴らしい可能性を益々感じ、この総合人生大学が将来の「地球人」の「コミュニティづくり」のモデルになることを心から望んでいます。



同窓会の窓

総合人生大学同窓会設立に向けて

昨年6月に2期生の運営会議連絡会に1期卒業生の各クラス代表が加わり、同窓会の設立について議論し、設立準備委員会を発足させました。

12月には各クラス幹事が選出され、このメンバーで本年4月総会開催を目指してどのような総会にするかなど実施内容を検討中です。

今後は、同窓会活動の一環として、同窓会の情報や卒業生の活動状況などをこの情報紙などに掲載しながら、卒業生・在校生全体の情報の共有化を進めていきたいと考えています。

江戸川総合人生大学同窓会設立準備委員会

訂正とおわび

本紙No.4の「江戸川にほんごクラブ」の記事に誤りがありました。訂正すると共に関係者にお詫びいたします。

誤: サイさん→正: ライさん

誤: ユファンさん→正: イファナさん

誤: トンさん→正: ソフィアさん

イベント情報 区民の皆様のご参加をお待ちします

催し	日時	会場	費用	主催・お問い合わせ・内容
学習支援 ボランティア活動講座	2月17日(日) 14時~16時	タワーホール船堀 4F研修室	無料	スクールサポーターゆうほ「講座係」 携帯 080-3442-5747
和紙を使った折り紙とおしゃべりの会	2月23日(土) 14時~16時	W.S.事務所 2F (東葛西5-23-8)	無料	ホビーサロン 島村 TEL 3877-740
草木染を楽しもう	3月1日(土) 13時~16時	清新町 コミュニティ会館	無料	どんぐり 山田 TEL 5658-5295 申込締めきり: 2月23日 (詳しくはご連絡を)
江戸川区アダプト活動交流会 (花と緑と水のボランティア)	3月2日(日) 14時~	鹿骨区民館 2Fホール	無料	土木部庶務課庶務係 TEL 5662-8376 (詳細は2月20日号「広報えどがわ」で)
雨水を上手にを使って 花を育てよう	3月3日(月) 17時30分~20時30分	南小岩コミュニティ会館	無料	花ステーション研究会 携帯 090-2499-9751 申込締めきり: 2月22日
江戸川総合人生大学学生による 第8回朗読会	3月22日(土) 10時30分~11時40分	タワーホール船堀 3F応接会議室	無料	堀川 TEL 3679-4357
小岩の茶店	毎月2の付く日 10時~15時	南小岩フラワーロード ポケットハウス	無料	すきま南風 高木 TEL 5668-5396 (詳しくはご連絡を)
ヨーガ教室	毎月第1・3水曜日 18時~20時	タワーホール船堀 4F和室	入会金1,000円 1回 1,500円	サタデーネット 高橋 TEL 3670-8955 (詳しくはご連絡を)

「ひと あい えどがわ」編集委員

【2期生】島田久市(江) 戸塚弘・吉田英雄(国) 上原真樹子(子) 井上周介(介)

【3期生】晝間樹・竹重真紀子(江) 高島卓・矢作弘子(国) 高森敬子・渡邉佳保里(子) 大島玉枝・杉田房子・松丸洋子(介)

【4期生】後藤文夫・寺久保好子(江)

掲載記事に関するお問合せは/江戸川総合人生大学事務局【電話: 5676-2431】まで

素敵な情報を待っています

「ひと あい えどがわ」は人生大学発の、区民と学生を結ぶ情報紙です。ユニークな活動をしているグループ、是非取り上げて欲しいグループなどありましたら、総合人生大学事務局までご連絡ください。